

年間取組検証シート

部	教育部	課	郷育推進課
---	-----	---	-------

No	施設名称
7	中央公民館

施設分類
社会教育施設
施設細分類
公民館

行財政改革審議会中間答申の内容

両施設(中央公民館、文化会館)は市が運営していく必要があるものの、機能の整理による効率的な運営を行う必要があると考える。

【理由】

両施設には、ホール、調理室、視聴覚室、研修室など、類似している機能が多くあり、本市の規模で2つの施設は必要ないが、それぞれの施設のこれまで担ってきた役割と現在の利用状況を見ると、現時点での廃止は考えにくい。その上で、重複している機能については、それぞれの施設の設置目的や特性にあわせて、機能分担や統廃合し、管理費を縮減すべきである。

【付帯意見】

両施設について、同一の指定管理者による管理を行うなど、一体的に効率的な運営が可能となるような仕組みを検討願う。また、新規に整備する施設の代替や既存施設の移転など空きストックを有効活用することによって、市の施設全体について総合的な効率化を図ることを求める。

中間答申を受けての基本方針

平成30年度から機能整理後の施設運営を開始する。
あわせて指定管理者制度の導入を検討する。

年次計画と内容		H28	H29	H30	H31 (R1)	H32 (R2)	備考
① 図書室機能の閉鎖 (津屋崎庁舎再生整備施設への移行)	計画						
	実施						
② ボランティアセンターの開設	計画						
	実施						
③ 機能整理内容の検討・実施	計画	検討	検討	実施	検討		調理実習室 陶芸室
	実施						
④ 市民への周知(機能整理)	計画						
	実施						
⑤ 指定管理者制度導入の検討	計画						
	実施						
⑥ 公民館と文化会館の機能統合に伴う 課題の整理検討	計画						
	実施						
⑦ 公民館と文化会館の機能統合の周知	計画						R3
	実施						
⑧ 文化会館に機能統合	計画						R3末
	実施						

プラン見直し結果(第1回)

【内容】

【理由】

【実施計画】

プラン見直し結果(第2回)

【内容】

令和3年度末までに、文化会館と機能統合を含め公民館機能を整理する。

【理由】

図書室機能及び調理実習室の廃止を行うなど、効率的な運営を行い管理費の縮減に取り組んできた。また、両施設の重複機能を整理することによる縮減以上に、文化会館に機能集約することにより管理費の削減が見込める。また、福津市中期財政見直し(令和元年12月策定)からも、福津市行財政改革集中プランの更なる推進が必要である。

【実施計画】

公民館と文化会館の機能統合に伴う課題の整理検討を行い、機能統合の周知を行い、令和3年末までに文化会館に機能を統合する。

各年度の達成度

年度	達成度	その達成度を選んだ理由・取り組み内容	次年度取り組み内容(計画)
H29年度	B	機能整理調査研究会議を設置し、福津市文化会館等と合わせ、施設の重複機能の整理及びその後の有効活用について、検討を行った。調理実習室については、その機能を廃止し、社会教育団体の事務所として活用する方針とした。	施設の機能転換について市民への周知を図り、社会教育団体との調整を行う。 あわせて、調理実習室の改修についての検討を行うとともに、引き続き、機能整理調査研究会議において検討を進める。
H30年度	A	改修した旧図書室について、ボランティアセンターとしての活用を開始した。 調理実習室を社会教育団体等の事務所として活用するため、改修工事を行った。 利用者が減少傾向にある陶芸室の今後の活用について検討を開始した。	旧調理実習室について、社会教育団体等の事務所としての活用を開始する。 陶芸室の今後の活用について検討を進める。
令和元年度 (H31年度)	A	改修した旧調理実習室への入室について、社会教育団体等との交渉を重ね、入室定数4団体に対し、現在4団体が入室をしている。 利用者が減少傾向にある陶芸室の再利用に向けた検討を開始した。	引き続き、中央公民館全体の機能整理の検討を進める。 令和元年12月に中期財政見通しに併せて行財政集中改革プランをさらに推進するプランが決定され、令和3年度まで存続、令和4年度から文化会館に機能統合する方向性が示されたことから、機能統合に伴う課題の整理検討を行う。
令和2年度	B	第3次行財政改革大綱の方針確定に向けて、文化会館への機能統合の課題について整理を行い、既存施設利用状況及び可能な代替施設の在り方について検討した。	

達成度評価ランク

A 年次目標内容を達成した	B 取り組みを行い、概ね年次目標を達成した
C 取り組みを行ったが、年次目標を達成できなかった	D 取り組みを行えなかった

取組結果(完了後)

<p>財政効果(見込み)額 令和3年度においても機能統合実施に向けての整理は必要であり、公共施設の機能統合による効果は翌年度以降となる見込みである。</p>
<p>その他得られた効果等 図書室機能及び調理実習室の廃止を行うなど、効率的な運営を行い管理費の縮減に取り組むことができた。 図書室図書代(926,595円)及び委託料(3,249,072円)の削減効果</p>
<p>今後の方針 中央公民館の利用者に対する周知と代替施設の提供に向けて検討していく。</p>

年間取組検証シート

部	教育部	課	郷育推進課
---	-----	---	-------

No	施設名称
9	野外活動広場(わかたけ広場)キャンプ施設

施設分類
社会教育施設
施設細分類
その他社会教育施設

行財政改革審議会中間答申の内容	
本施設(広場を除く。)は市が運営していく必要はなく、廃止が適切と考える。	
【理由】	時代の変化とともにキャンプ場のニーズが変化している中で、本施設は役割を終えている。このことは利用者数の状況からも判断できる。
【付帯意見】	跡地について新たな投資は必要ないと考える。

中間答申を受けての基本方針
平成29年度からキャンプ場等の機能を廃止する。

年次計画と内容		H28	H29	H30	H31 (R1)	H32 (R2)	備考
① 市民への周知	計画		プラン見直し検討		プラン見直し検討		R3
② キャンプ場等の機能の廃止	計画						R4
③ 公民館運営審議会	計画						
	実施						

プラン見直し結果(第1回)	
【内容】	当面、施設の運営を継続する。ただし、運営方法は見直しを図る。
【理由】	利用者への周知期間を設け、当面は直営での運営を継続する。計画期間内に、方針及び年次計画を見直す。
【実施計画】	公民館運営審議会を開催する

プラン見直し結果(第2回)	
【内容】	令和3年度まで施設の運営を行う。以降はキャンプ場等機能を廃止する。
【理由】	福津市公民館運営審議会の答申(平成30年11月。「バンガローについては、老朽化が相当進んで維持費がかさんでおり、市内に県営で市が管理している大峰山キャンプ場があることから、撤去する方向がいい」、「炊飯場やバーベキューヤードについては、市内に大峰山キャンプ場が存在すること、火気の使用によって管理人の存在が欠かせず維持費がかさむこと等を考慮し、原則として撤去する方向がいい」)を踏まえ、廃止を行う。また、福津市中期財政見通し(令和元年12月策定)からも、福津市行財政改革集中プランの更なる推進が必要である。
【実施計画】	

各年度の達成度

年度	達成度	その達成度を選んだ理由・取り組み内容	次年度取り組み内容(計画)
H29年度	—		
H30年度	B	基本方針を見直すにあたり、公民館運営審議会を開催した。その在り方について、「当該広場の将来の姿を総合的に考えると、芝生広場や東屋、藤棚、遊歩道等は残し、自由に散策できる緑地公園のような性格で整備する方向が良いのではないか」という答申が示された。	公民館運営審議会からいただいた答申をもとに基本方針を検討する。
令和元年度 (H31年度)	B	基本方針の検討に加え、施設の老朽化対策も踏まえ、当面の措置として次の2点について決定、実施した。 ・老朽化が激しく、使用継続が危険と判断したアスレチック遊具3施設を撤去した。 ・その他のアスレチック遊具4施設及び木製滑り台も老朽化が進んでいるため、来年度撤去に向けた予算要望を行った。	引き続き、基本方針の検討を続ける。 アスレチック遊具4施設及び木製滑り台については、年度中に全施設の撤去を完了する。 令和元年12月に中期財政見通しに併せて行財政集中改革プランをさらに推進するプランが決定され、令和3年度まで存続、令和4年度廃止(キャンプ場機能)の方向性が示されたことをふまえ、汲み取り式のトイレ、野外炊飯場、バンガロー等の宿泊施設についても、老朽化が著しいため、安全面を考慮し、撤去に向けて検討する。
令和2年度	B	アスレチック遊具4基及び木製滑り台の撤去を行い、利用者の危険性を防止した。キャンプ機能の廃止に向けて検討した。	

達成度評価ランク

A 年次目標内容を達成した	B 取り組みを行い、概ね年次目標を達成した
C 取り組みを行ったが、年次目標を達成できなかった	D 取り組みを行えなかった

取組結果(完了後)

<p>財政効果(見込み)額</p> <p>アスレチック遊具及び木製滑り台を撤去したことで、維持管理経費が削減できた。</p>
<p>その他得られた効果等</p> <p>アスレチック遊具及び木製滑り台を撤去したことで、維持管理経費が削減できた。 遊具設備点検委託料(H30年度) 180,000円、バンガロー修繕(H30年度) 199,152円</p>
<p>今後の方針</p> <p>キャンプ機能の廃止をふまえ、汲み取り式トイレ、野外炊飯場、バンガロー等の宿泊施設の老朽化が著しく、安全面と衛生面で不安があるため、撤去に向けて検討する。</p>